

# みなとオアシス“ペリー久里浜” 開国の歴史とみなとの魅力！

1853年7月8日（嘉永6年6月3日）、ペリー率いるアメリカ海軍の艦隊が浦賀沖に来航しました。ペリーはフィルモア大統領の国書を携えており、日本側を威圧しながら国書受け取りを要請しました。日本側は浦賀奉行所の役人たちが直接交渉にあたり、交渉の結果、浦賀に隣接する久里浜の海岸でアメリカ大統領の国書を受け取ることになりました。1853年7月14日（嘉永6年6月9日）、ペリーが上陸して国書を日本側に引き渡したのが、ここ久里浜の地です。

## 久里浜と黒船来航の歴史

ペリー来航と開国の歴史を広く伝えるため、横須賀市の市制80周年を記念して1987年（昭和62年）にペリー記念館が建てられました。1階が当時の様子を再現したジオラマ模型の展示ホール、2階が史料（当時の絵巻物や瓦版など）の展示室になっています。またペリー公園内には、黒船を見て驚き動揺する人々の姿を表現した「泰平のねむりをさます じょうきせん たった四はいで 夜も寝られず」の「じょうきせんの碑」が設置されています。「上喜撰」というお茶の銘柄と「蒸気船」を掛けて「お茶を4杯飲んだら寝られなくなった」「蒸気船が4隻来たら大騒ぎで寝られなくなった」という驚きを端的に表現した落首です。



久里浜に来航した黒船のジオラマ  
（ペリー記念館1階）



ペリーが辿った航路  
（ペリー記念館2階）



じょうきせんの碑（ペリー公園）



ペリー上陸記念碑  
（ペリー公園）

## “久里浜” みなとの魅力を体感！

- 久里浜港からフェリーに乗れば、千葉県金谷港まで約40分。渋滞なしで房総半島へ！ その他、久里浜港から伊豆・小笠原諸島への航路、クルーズなど様々なイベントを実施しています。
- 東京湾を一望できる日帰り温泉や、新鮮な海鮮料理で1日ゆっくり過ごせます。また、工場直売所価格のおいしいコロッケやケーキをその場で食べるもよし！ おみやげで買って帰るのもよし！
- 久里浜ふ頭（通称：ペリーふ頭）にて地元商品だけでなく『南房総からも出店者がフェリーに乗って「ペリーふ頭」に来航！』をキーワードに、「ペリーふ頭黒船朝市」を不定期で開催しています。



ペリーふ頭黒船朝市  
開催状況



久里浜から大島を結ぶ高速ジェット船  
セブンアイランド



東京湾周遊特別クルーズ